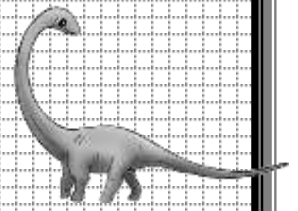


けんぱくものしりシート

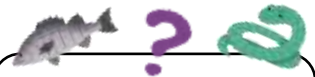
リンボク



かいせついん
解説員

ケンくん、ハクちゃんこんにちは！ 総合展示室の地質のお部屋によろこそ。こちらの2つは、岩手県の古生代※デボン紀(約4億1900万年~3億5900万年前)という時代の後期の地層からみつかった化石です。

さて、いったい何の化石かわかるかな？
(※古生代：今から約5億3800万年~2億5200万年前)



ウロコのような
もようがあるね。



ケンくん



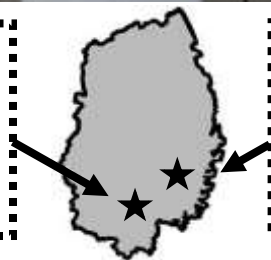
ハクちゃん



リンボク類 レプトフリーアム

いちのせきし だいとうちようさん
一関市大東町産

とびが もりそう とうかんぞう
(鳶ヶ森層) 当館蔵



リンボク類 レプトフリーアム

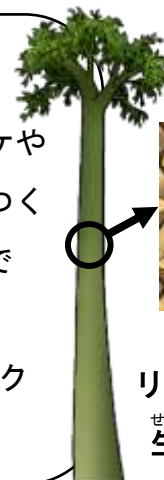
かまいし しくりばやしちようさん
釜石市栗林町産

せんじよう が たきそう とうかんぞう
(千丈ヶ滝層) 当館蔵



写真はリンボクという植物の化石です。ヒカゲノカズラ類という植物の仲間で、デボン紀にはん栄しました。現在のコケやシダのように種子を作らず胞子で増え、地球で最初に森林をつけた植物といわれています。幹にウロコもようがみられるので「鱗(ウロコ)木」という名前がつけました。

ちなみに、現在みられる植物の鱗木(ヒイラギガシ・カタザクラ)とは全く別の種類なので気をつけてね。

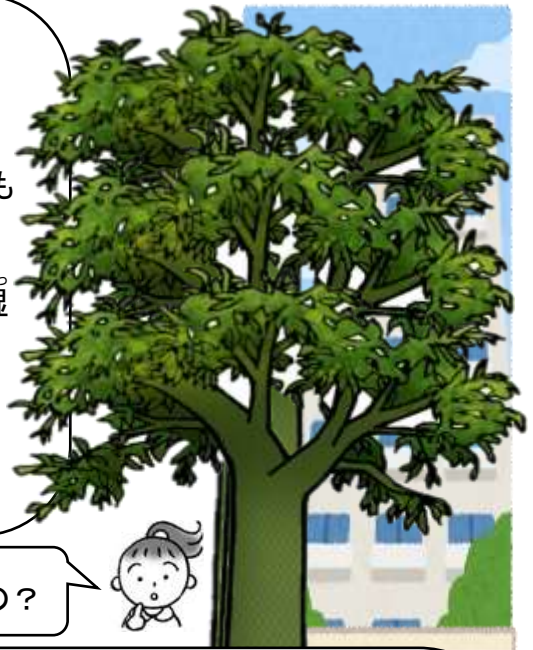


リンボク(鱗木)の
せいけいふくげんそうぞう ず
生態復元想像図



リンボクは初めは小さかったけれど、次の石炭紀(約3億5900万年～2億9900万年前)という時代に高さ40m(13階建てマンションとほぼ同じ高さ)にもなる種類が現れました。

リンボクをふくむ大はん栄した植物はやがて湿地にうまり長い時間をかけて石炭になりました。石炭紀という時代の名前はこの時代の地層から大量の石炭がとれることからきています。



日本でとれる石炭もリンボクがもとになっているの？



かったん
褐炭

しもへいぐんいわいずみちようさん
下閉伊郡岩泉町産
こがわそうぐんなめいりそうとうかんぞう
(小川層群名目入層) 当館蔵



日本の石炭の多くは、もっと時代が進んだ新生代※古第三紀(約6600万年～2300万年前)という時代頃の森林がもとになっているといわれています。しかもリンボクは古生代に絶滅してしまったから、別の植物が石炭になっていると考えられるわね。

地質のお部屋には、岩手県産の石炭(褐炭)の展示もあるのでぜひ見つけてみてね。

(※新生代：今から約6600万年前～現在)



令和6年4月に沿岸南部大船渡市のデボン紀前期の地層(中里層)から日本最古の植物の孢子化石が見つかったとの報道がありました。当時は原始的な植物の草原が広がっていたようです。この発見で岩手はますます注目の場所になりそうですね。

引用・参考文献

岩手県立博物館 2016年 『第67回企画展図録 古生代の大量絶滅と回復—進化の影と光—』他

- 「けんぱくものしりシート」の内容は発行当時のものです。
- 「けんぱくものしりシート」は解説員が執筆しております。



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214

岩手県立博物館

検索

HPIにてバックナンバー公開中!

けんぱくものしりシート

『リンボク』

2024年7月発行 地質—No.29

■参考文献

- ・ 岩手県立博物館 2016年 『第67回企画展図録 国立科学博物館・コラボミュージアム in 盛岡 古生代の大量絶滅と回復 - 進化の光と影 - 』
- ・ 岩手県立博物館 1996年 『これなあに？地質 - 21 リンボク』
- ・ D・ディクソン 2013年 『生命と地球の進化アトラスⅡ - デボン紀から白亜紀 - 』
- ・ 北村雄一 2016年 『絵でわかる古生物学』
- ・ (株)ニュートンプレス 2023年 ニュートン別冊『新ビジュアル古生物事典 恐竜だけじゃない魅力あふれる古生物を一挙公開』
- ・ 土屋香 土屋健 2016年 『楽しい植物化石』
- ・ 牧野富太郎 邑田仁 米倉浩司 2017年 『新分類牧野日本植物図鑑』
- ・ 牧野富太郎 本田正次 1982年 『原色牧野植物大図鑑』
- ・ 佐竹義輔 他 1999年 『日本の野生植物1 木本』
- ・ 株式会社小学館 2012年 小学館の図鑑NEO⑱ 『岩石・鉱物・化石』
- ・ 株式会社小学館 2002年 小学館の図鑑NEO② 『植物』
- ・ 岩手日報 2024(令和6)年4月4日朝刊 「大船渡から国内最古の植物化石」

■イラスト出典

- ・ 岩手県立博物館 2016年 『第67回企画展図録 国立科学博物館・コラボミュージアム in 盛岡 古生代の大量絶滅と回復 - 進化の光と影 - 』